

研究指導の概要

■ ニューロサイエンス学位プログラム

【課程：博士後期課程】

学年	学期 モジュール	研究内容及び指導方法等	
1 年 次	春	授業	必修科目「キャリアプラン・研究者倫理・TFトレーニングセミナー」を中心に授業を受講し、研究者及び教育者として必須である知識を身につける。
		研究	指導教員の指導のもと、博士論文研究のテーマを決定し、文献研究、予備研究を実施する。
		その他	9月末までに仮テーマとキーワードを提出する。
	秋	授業	必修科目「神経科学専門セミナー」及び英語科目を中心に授業を受講し、より実践的な研究技法や知識を身につける。
		研究	指導教員の指導のもと、博士論文研究を進める。併せて、10月中に課される個別のテーマについてのレポート（QE1）を作成し、指導教員による書面審査を受ける。
		その他	
2 年 次	春	授業	必修科目「神経科学専門セミナー」及び英語科目を中心に授業を受講し、より実践的な研究技法や知識を身につける。
		研究	指導教員の指導のもと、博士論文研究を進める。併せて、8月末までに博士論文のIntroductionの原稿となるようなReview Paper（QE2）を作成し、指導教員以外の査読者（3名）による書面審査を受ける。
		その他	
	秋	授業	必修科目「神経科学専門セミナー」及び英語科目を中心に授業を受講し、より実践的な研究技法や知識を身につける。
		研究	指導教員の指導のもと、博士論文及び投稿論文の作成を進める。投稿論文の原稿（QE3）を3月第4木曜日までに提出し、指導教員以外の主査（1名）・副査（2名）による書面審査を受ける。
		その他	なお、予備審査論文提出の6ヶ月前までにQE3を提出しなければならない。

学年	学期 モジュール		研究内容及び指導方法等
3 年 次	春	授業	
		研究	指導教員の指導のもと、博士論文の作成を進める。
		その他	9月1日までに論文タイトルを提出し、9月第4木曜日までに博士論文及び学術雑誌に筆頭著者として投稿している論文の証明書を提出する。
	秋	授業	
		研究	指導教員の指導のもと、博士論文を完成させる。併せて、博士論文最終試験、博士論文最終公開発表会に向けての準備を行う。
		その他	10月に行われる博士論文予備審査会では、指導教員以外の主査（1名）・副査（3名のうち1名は学位P以外）による口頭審査（発表30分、質疑応答30分程度）を受ける。予備審査会で合格となった場合は、12月1日に博士論文と学術雑誌に筆頭著者として発表している論文を提出し、1月末までに公開で研究発表（30分）を行い、上記主査・副査による最終審査を受ける。